



年末に向けて交通安全を呼びかけ

交通安全街頭キャンペーン

「年末の交通事故防止県民運動」に先駆けて、11月29日に向台小入口交差点で街頭キャンペーンを実施しました。当日は、牛久市交通安全団体の皆さんを中心に茨城アストロプラネッツの方々と合わせて約80人で運転手や歩行者の皆さんに啓発品を配布しながら交通事故防止を呼びかけました。また、11月1日から道路交通法の改正が行われ、自転車の運転に関し新たな罰則が整備されたことを受け、自転車利用者にも自転車の正しい乗り方の注意喚起を行いました。



中小企業の活性化へ

竜ヶ崎法人会が税制改正に関する提言書を提出

11月14日、一般社団法人竜ヶ崎法人会牛久地区会(海老原賢会長)から、牛久市へ「令和7年度税制改正等に関する提言」が手渡されました。提言書では、コロナ禍を経た実効性のある税財政改革や、中小企業の活性化に資する税制措置などの要望がなされました。



介護予防をサポートします シルバーリハビリ体操3級体操指導士加入

11月19日、「シルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会」を修了した8人が市から認定を受け、3級体操指導士となりました。

シルバーリハビリ体操は、県で考案された介護予防体操です。講習会を修了した指導士が牛久市シルバーリハビリ体操指導士会に所属し、各地区の通いの場で体操を実践しながら介護予防に取り組んでいます。

ぜひお近くの会場に足を運んでみませんか？

※実施の有無等については医療年金課までお問い合わせください(☎内線1728)



叙勲

～受章おめでとうございます～

「秋の叙勲」と「危険業務従事者叙勲」が発表されました。牛久市では18人の方が受章されました。おめでとうございます。

—— 令和6年 秋の叙勲 ——

●瑞宝小綬章

板垣 元 (元 関東管区行政評価局第一部長)
酒井 健生 (元 茨城県稲敷地方広域市町村圏事務組合消防正監)

●瑞宝双光章

園部 昌彦 (元 学校医)

●瑞宝単光章

荒井 啓三郎 (元 法務教官)
小崎 照雄 (元 内閣府技官)

— 第43回 危険業務従事者叙勲 —

●瑞宝双光章

黒須 正 (元 1等陸尉)
後藤 正人 (元 警視庁警部)
小林 慶二 (元 警視庁警部)
佐藤 定男 (元 警視庁警視)
末富 信芳 (元 警視庁警部)
中野 正広 (元 警視庁警部)
羽深 克久 (元 警視庁警視)
前頭 善一 (元 警視庁警部)

●瑞宝単光章

及川 公逸 (元 皇宮警部補)
桂嶋 良司 (元 東京消防庁消防司令)

※掲載の許可をいただいた方のみお名前などを掲載しています。(敬称略)



脱炭素化社会の実現へ セブン-イレブン店舗への配送トラックにバイオ燃料活用

牛久市は近隣9自治体の協力のもと、学校給食や一般家庭、民間事業者などから植物性の使用済み食用油を回収し、軽油代替となる再生可能エネルギー「バイオディーゼル燃料」を製造しています。12月3日からこのバイオディーゼル燃料を軽油に5%混合した「B5 軽油」が牛久市を中心にその周辺のセブン-イレブン店舗に配送を行う車両の一部燃料として使用されることになりました。この取り組みにより、地域の環境負荷軽減が促進すると期待が寄せられています。



寄附・寄贈

温かい善意ありがとうございます

牛久市仏教会から牛久市共同募金委員会へ

- 「歳末たすけあい募金」として241,263円を寄附



揚植商会(株)から向台小学校へ

- iPad3台を寄贈



茨城県企業防衛対策協議会 牛久地区推進協議会から牛久市へ

- 防犯教育DVDを寄贈



うしくWaiワイまつりでの売上を 牛久市社会福祉協議会へ

- 牛久市商工会工業・建設業部会工業クラブから6,500円寄附(写真左)
- 牛久市商工会女性部から30,000円寄附(写真右)



令和6年9月の能登豪雨に関する義援金

- 向台行政区から23,656円寄附



「能登豪雨に係る災害義援金箱」について

令和6年9月に発生した能登半島での大雨による被災地・被災者を支援するため、市内9カ所に義援金箱を設置しました(9月24日～11月29日)。皆さまから寄せられた義援金、総額487,562円は全て石川県令和6年能登豪雨災害義援金受け入れ口座へ送金しました。

ご支援、ご協力ありがとうございました。

問 防災課 ☎内線1681



宝くじ社会貢献候補事業による助成

宝くじ助成金で防災資機材を整備しました

一厚西自主防災会は宝くじ助成金※を受けて、防災資機材を整備しました。自主防災組織では、自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、自主的な防災活動に積極的に取り組んでおり、今後も安心して暮らせる地域づくりに一層の活躍が期待されています。※宝くじ助成金は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施している助成制度で、宝くじの受託事業収入を財源としています。



県勢の発展に寄与

牛久ウオーキングクラブに功績者表彰

「牛久ウオーキングクラブ」は、ウォーキングを通じて地域住民の健康増進活動を推進する団体です。11月13日、当団体が県より「功績者表彰」を受賞し、その報告のため11月29日沼田市長を表敬訪問しました。代表の望月諭さんは、「コロナ禍で活動が縮小していたが、少しずつ活気を取り戻している。今後はイベントの開催なども考えていきたい」と、活動への抱負を語りました。



交通安全教化員さんありがとう！

交通安全教化員に感謝の気持ちを

交通安全教化員は市内の保育園や幼稚園などを回り「交通安全」や「防犯」について、子どもたちにも分かりやすいよう教える活動をしています。11月21日には、市役所で牛久幼稚園の子どもたちが教化員へ日ごろの感謝を込めて「いつもありがとう！」の言葉と、手作りのメッセージカードを贈りました。

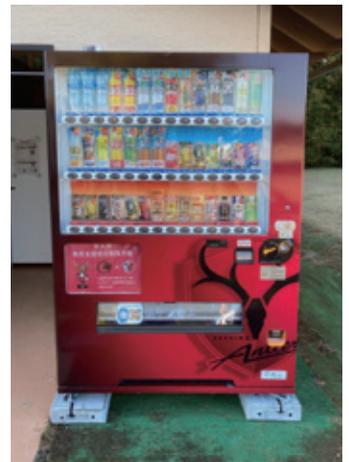


アントラズ自販機が登場！

鹿島アントラズラッピング自販機設置

11月27日、牛久市とフレンドリータウン協定を締結している鹿島アントラズと協力し、教育支援型の「鹿島アントラズラッピング自販機」を女化運動広場に設置しました。

また、この自販機の売り上げの一部はサントリービバレッジソリューション株式会から牛久市に寄附され、牛久市のスポーツ教育のために活用されます。



黒白のコントラストが目立つスマートな小鳥で、水辺や畑、公園などの開けた場所で、地上を歩いている姿をよく見かけます。長い尾を上下に振る習性があり、飛翔時に時々羽ばたきを止めて波状の軌跡を描く飛び方をします。また、地上を早足で移動し、早すぎて足の動きが見えないくらいのスピードで走ることもあります。ユーラシア大陸にも広く分布するハクセキレイと、外見や習性がよく似ています。が、セグロセキレイは日本固有種で、飛ぶ時に「ジジッ、ジジッ」と鳴く濁った声と、頬が黒いことで見分けられます。



セグロセキレイ
(背黒鶴鷯)
スズメ目セキレイ科



みんな大好き！おいしい給食 市内小・中・義務教育学校で「牛久の日」・「和食の日」

◆「牛久の日給食」

地産地消と食育推進を目的とした「牛久の日」給食が11月12日に実施されました。この日の牛久小学校の献立は ごはん、牛乳、鶏肉とさつまいもの塩こうじ炒め、牛久の恵みみそ汁、りんご。今年は猛暑の影響で牛久産のリンゴの提供はできませんでしたが、牛久市産の食材がたくさん使われた給食を子どもたちは楽しみました。



◆「和食の日給食」

11月24日の「和食の日」にちなんだ給食が、22日に提供されました。この日はJA水郷つくばから寄贈されたうしく児童大根を使用した献立でした。牛久第三中学校では大根生産者を招待して生徒たちと会食し、生徒たちは「おいしい大根をありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えていました。



日本の伝統芸能を学ぶ 中学生、能楽ワークショップ体験

11月19日、下根中学校とおくの義務教育学校で市内在住の重要無形文化財総合指定保持者の山中一馬氏をはじめとした能楽師の皆さんによる「能楽ワークショップ」と題した、能楽体験授業が行われました。授業の中で生徒たちは、謡(うたい)と呼ばれる声楽や舞、笛、子鼓、大鼓などの楽器の演奏を実際に体験し、最後に能楽師による演目「敦盛」を鑑賞しました。ほとんどの生徒が初めて能楽に触れる機会となった今回の授業。生徒たちは能楽の奥深さを知り、その世界を楽しみました。



全国大会で躍動

クッキーズバトンクラブが全国大会へ

10月20日に開催された、「第59回バトントワリング関東大会」の一般部門U-12の部でクッキーズバトンクラブが金賞、千葉市長賞を獲得し全国大会推薦を受けました。12月2日にはその報告のため、市内在住のメンバー7人が沼田市長を表敬訪問しました。副キャプテンの海老澤奈和さんは「金メダル目指して精一杯がんばります」と話し、ほかのメンバーも全国大会の意気込みを市長に伝えました。



ゲートボールで全国に！

いばらきねんりんスポーツ大会優勝

スポーツを通じて高齢者の健康増進と交流を深める「第29回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会」が10月29日、笠松運動公園で行われ、市内ゲートボールチームの「牛久チーム」が優勝。代表の石野雅昭さんは「活力のひとつであるゲートボール、これからも元気にプレイしたい」と抱負を語りました。同チームは令和7年10月に開催される「ねんりんピック2025岐阜」に茨城県代表として出場します。





現代アートに触れる

第29回うしく現代美術展

11月17日から12月1日に中央生涯学習センターで「第29回うしく現代美術展」が開催されました。作家57人による平面、立体などの作品が展示され、終日多くの来場者で賑わいました。

会期中には、井上琢氏によるワークショップが開催され、市内の子どもたちと大人が参加し、水彩画のさまざまな技法を学び、作品を制作しました。その作品は同美術展の会場内に展示されました。また、芸術に触れる機会を増やそうと、市内小学校の児童を対象に芸術鑑賞会も開催。児童らは作家から作品の解説を受け、「制作にはどのくらい時間がかかるのか」、「作品にはどんな思いが込められていますか」などの質問をしながら、鑑賞をしました。



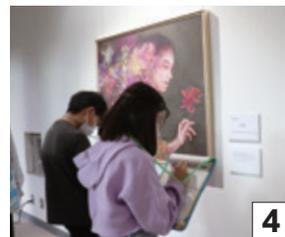
1



2



3



4

- 1 ワークショップで作品を制作している様子
- 2 ワークショップで制作した作品を持つ参加者
- 3・4 芸術鑑賞会で作品の解説を聞く児童の様子



いいものたくさん、ふるさとうしく ウィンタースフェスタ2024

12月15日、あみプレミアム・アウトレットで2年ぶりに「ウィンタースフェスタ」が開催されました。

「いいものたくさん、ふるさとうしく。牛久を知って、好きになる」をテーマに、市内事業者によるワークショップやふるさと納税で人気のグルメやアウトドア用品、冬の新鮮な旬野菜などの販売があり、多くの来場者で賑わいました。また、会場内で買い物やワークショップに参加した方を対象に豪華賞品が当たる抽選会も行われ、市外県外の多くの方に牛久市を知っていただき、特産品の魅力に触れていただく良い機会となりました。



牛久の花「菊」 新品種の名称決定 「令和6年度うしく菊まつり」新品種の菊

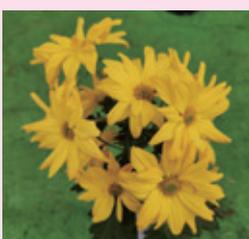
11月1日から11月15日まで開催された「令和6年度うしく菊まつり」の会場で、市内在住で菊栽培の指導などを行っている園芸家の上村遥さんによる新品種の菊が3種類発表され、名称を募集しました。応募総数78通の中から以下の名称に決定しました。



「牛久のともしび」



「牛久の白羽」



「牛久の月あかり」



令和6年度うしく菊まつり会場



再生紙、環境に優しい植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。